

心の輪11R



『三六五×十四回分のありがとう』という資料を通して、

「家族のきずな」について考えました！



私はこの手紙を読んで、佐江子さんとお母さんは十四年くらいしか一緒に日々を過ごしていなかったのに、まるで何十年も一緒に生きているくらい大きな『きずな』があったので、すごいなと思いました。

いつもお母さんに支えてもらっていて、自分が思っている以上にお母さんは自分のことを思っているんだなと知って、自分からも、お母さんやお父さんが困っている時に支えようと思いました。

親は産んだ子全てに愛を注いでいるのだと思いました。また、愛をもらっている分、自分はしっかり感謝を伝えたいです。

いつも側で支えてくれていることに感謝して、普段言えない「ありがとう」を伝えていきたいと、この話を読んで改めて思った。

今日の授業で、『感謝』と『大切にする』が大事だと思いました。今まで、親や先生たちなどのおかげで明るく、楽しく過ごすことができています。なので、その分、支えたり、感謝して、いつになっても大切にしていこうと思います。

学んだことは、親は自分が思っている以上に子供のことを心配しているんだということが分かりました。親は、何歳になっても子供は子供なんだなと思いました。

今日は、『親』について考えて、親にあたってしまったり、ケンカしてしまうことがあっても、お父さんやお母さんは自分の子供のことを誰よりも想ってくれていることを、改めて感じました。

家族や家庭の役割

家族は私が生まれてからずっと、私の命を守り、深い愛情を注いでくれた。そして家庭は、^{つか}疲れた自分を癒^{いや}してくれる、かけがえのない安らぎの場所。



文部科学省資料
『私たちの道徳』P.181より引用



たまに嫌なときもあるけど、佐江子ちゃんに比べて、私はまだ幸せです。親に迷惑を掛けているけど、一番心配してくれるのは親なので、これからも大切にしたいです。

昔は親のことが嫌いだったけれど、今は好きで、でも、感謝の気持ちを親には伝えられているけれど、自分は感謝の言葉を言っていないので、これからは、些細なことでも、例えば、「ごちそうさま。ごはんありがとう。」とか言おうと思いました。

改めて、親を大切にしないといけないなと思った。これからは、ちゃんと言葉にして感謝を伝えないといけないなと思った。親は子供をとても気にするんだなあと思った。

この話を聞いて、僕は、親は自分のことを人一倍気に掛けてくれているんだなと思い、嬉しくなった。僕も、これからもっと親を大切にしていこうと思った。